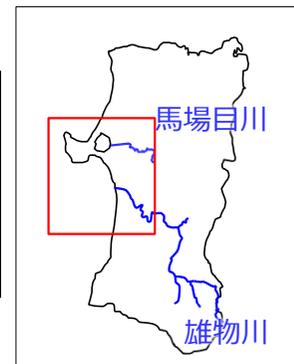


R6 雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクトの進捗状況

雄物川圏域流域治水協議会
雄物川下流圏域分科会

雄物川下流圏域分科会について

○令和5年7月15日からの大雨により、豪雨早急な災害メカニズムの把握及び治水対策メニューの策定を図るため、被害が集中していた雄物川下流域・馬場目川水系の関係8市町村を中心とした「下流圏域分科会」を令和5年8月8日設立。その後、作業部会を開催し、令和6年4月4日に雄物川下流圏域・馬場目川における水災害対策プロジェクトを策定・公表。



雄物川圏域流域治水協議会

R2.9~

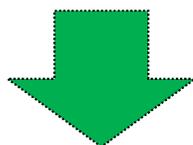
令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、雄物川水系及び馬場目川水系において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行う。

■参加自治体：圏域内15市町村

作業部会(協議会)

作業部会(雄物川水系)

作業部会(馬場目川水系)



雄物川・馬場目川
流域治水プロジェクトの策定

今次災害を受け令和5年8月8日に設立

R5.8~

下流圏域分科会

令和5年7梅雨前線による大雨をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、雄物川流域下流及び馬場目川水系において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とする。

■参加自治体：下流圏域内8市町村

作業部会(分科会)

作業部会(雄物川下流域)

作業部会(馬場目川水系)



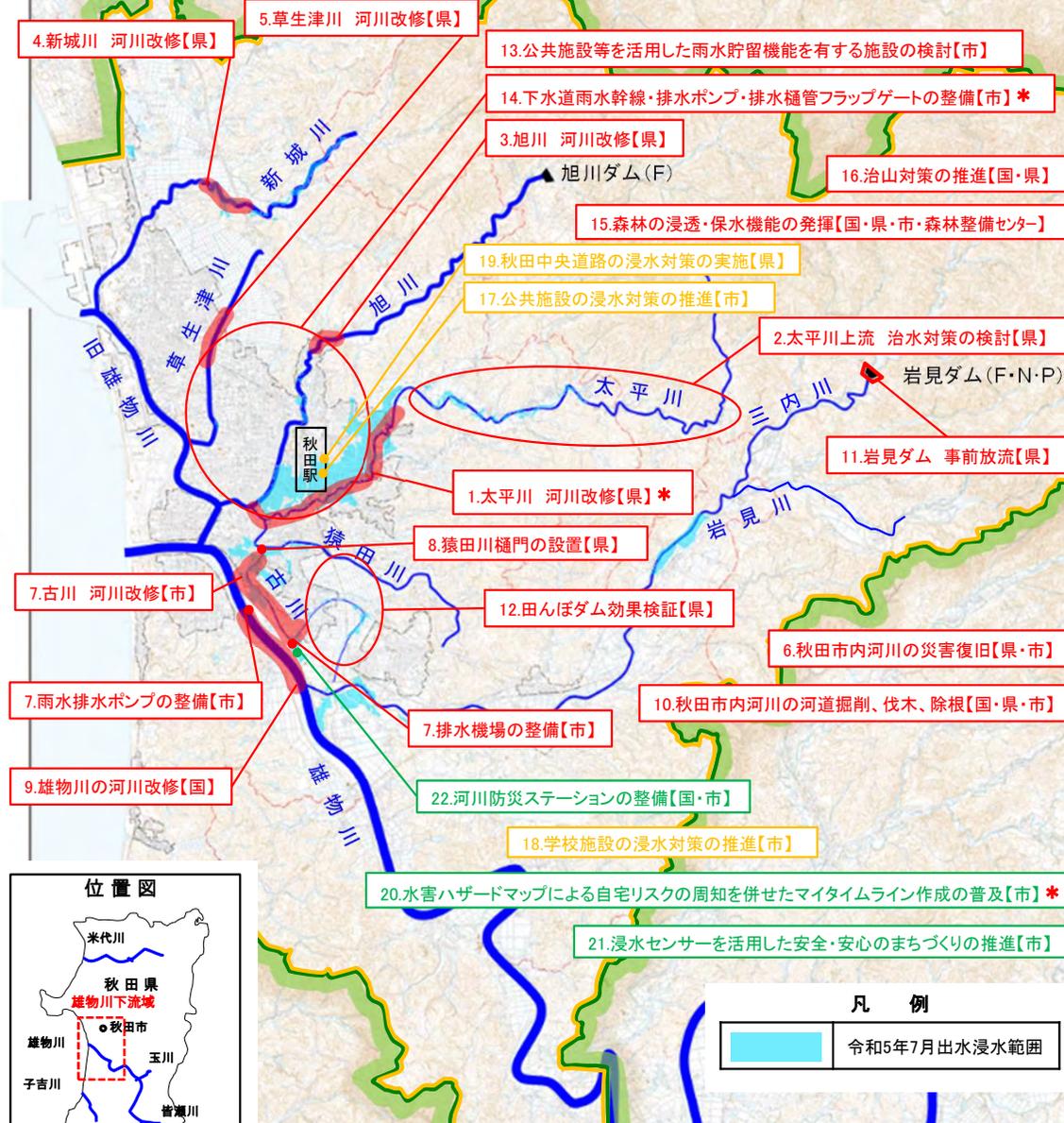
雄物川下流圏域及び馬場目川
水災害対策プロジェクトの策定

雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる治水対策の推進～

R6.4.4公表

- 令和5年7月15日からの大雨により、太平川の越水をはじめ秋田市街地の大規模浸水被害が発生したことから、雄物川下流圏域では、国、県、市等が連携し、以下の対策を実施する。
 - ・ 国は雄物川の河川改修、県は太平川、岩見川等の河川改修、災害復旧の対策を集中的に実施するとともに、秋田市は下水道の整備や浸水対策の検討を行い、令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減する。
 - ・ これらの推進を図るため、内水被害等軽減対策計画(新規施策)に、太平川の河川改修や下水道施設の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備、ソフト対策等を位置付け、治水対策等の加速化を図るとともに、「流域治水」の深化に向けて、特定都市河川制度(特定都市河川の指定)を活用した取組を推進していく。
 - ・ なお、引き続き被害軽減に向けて浸水対策の検討を行っていく。



■事業期間 令和5年度～令和14年度
 ■事業費 約639億円【国:約13億円、県:約417億円、市:約209億円】
 ※このほか、費用が確定した段階で、事業費に追加になります
 ※事業費については今後変更となる可能性があります
 ■目 標 令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河川区域での対策
- 1.太平川の河川改修【秋田県】*
 - 2.太平川上流 治水対策の検討【秋田県】
 - 3.旭川の河川改修【秋田県】
 - 4.新城川の河川改修【秋田県】
 - 5.草生津川の河川改修【秋田県】
 - 6.秋田市内河川の災害復旧【秋田県・秋田市】
 - 7.古川の河川改修や排水機場等の整備【秋田市】
 - 8.猿田川樋門の設置【秋田県】
 - 9.雄物川の河川改修【国交省】
 - 10.秋田市内河川の河道掘削、伐木、除根【国交省・秋田県・秋田市】
 - 11.岩見ダム事前放流【秋田県】
- 集水域での対策
- 12.田んぼダムの効果検証【秋田県】
 - 13.公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討【秋田市】
 - 14.下水道施設の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備【秋田市】*
 - 15.森林の浸透、保水機能の発揮【林野庁・秋田県・秋田市・森林整備センター】
 - 16.治山対策の推進【林野庁・秋田県】

- 被害対象を減少させるための対策
- 氾濫域での対策
- 17.公共施設の浸水対策の推進(エレベーター施設等)【秋田市】
 - 18.学校施設の浸水対策の推進(受変電施設、空調室外機等)【秋田市】
 - 19.秋田中央道路の浸水対策の実施【秋田県】

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 氾濫域での対策
- 20.水害ハザードマップによる自宅リスクの周知を併せたマイタイムライン作成の普及【秋田市】*
 - 21.浸水センサーを活用した安全・安心のまちづくりの推進【秋田市】
 - 22.秋田地区河川防災ステーションの整備【国交省、秋田市】



* 内水被害等軽減対策計画に位置付け、治水対策等の加速化を図ります。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクト R7.1月末時点実施状況一覧表①

雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクトメニュー	事業内容	事業期間	各メニュー対応状況 (R7.1月末時点)
■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策			
1. 太平川の河川改修【秋田県】	河道掘削、護岸等	①R5～R10 ②R5～R14	・河川激甚災害対策特別緊急事業区間の河道掘削、護岸等については、旭川合流点～JR羽羽本線までの区間において工事5工区分を発注し、R6.7月から工事に着手。継続中。
2. 太平川上流 治水対策の検討【秋田県】	治水対策検討	R5～R14	・太平川上流部は河川整備計画区間に含まれていないことから、河川整備計画への追加も視野に対策を検討する。 【河川改修以外の対応(特定都市河川指定)】 ・R6.11.8に旧雄物川流域(旧雄物川、新城川、草生津川、旭川、太平川、猿田川)を特定都市河川に指定。 ・R6.12.23流域水害対策計画の策定に向け、第1回流域水害対策協議会を開催。(基本方針を決定) ・現在は、都市浸水想定の実施に向け検討中(検討開始前、準備段階) ・流域水害対策計画の策定に向け、関係者が協働のうえで、流域一帯の更なる治水対策を継続検討。(河川整備計画区間外の流域対策も含む)
3. 旭川の河川改修【秋田県】	河道掘削、護岸等	R5～R7	・広域河川改修事業により延長約0.3km(濁川橋上流付近)の河川改修を実施中。 【河川改修以外の対応(特定都市河川指定)】 ・R6.11.8に旧雄物川流域(旧雄物川、新城川、草生津川、旭川、太平川、猿田川)を特定都市河川に指定。 ・R6.12.23流域水害対策計画の策定に向け、第1回流域水害対策協議会を開催。(基本方針を決定) ・現在は、都市浸水想定の実施に向け検討中(検討開始前、準備段階) ・流域水害対策計画の策定に向け、関係者が協働のうえで、流域一帯の更なる治水対策を継続検討。(河川整備計画区間外の流域対策も含む)
4. 新城川の河川改修【秋田県】	河道掘削、護岸等	R5～	・大規模特定河川事業により延長約2.3km(笠岡橋上流～秋田自動車道交差付近)の河川改修を実施中。 【河川改修以外の対応(特定都市河川指定)】 ・R6.11.8に旧雄物川流域(旧雄物川、新城川、草生津川、旭川、太平川、猿田川)を特定都市河川に指定。 ・R6.12.23流域水害対策計画の策定に向け、第1回流域水害対策協議会を開催。(基本方針を決定) ・現在は、都市浸水想定の実施に向け検討中(検討開始前、準備段階) ・流域水害対策計画の策定に向け、関係者が協働のうえで、流域一帯の更なる治水対策を継続検討。(河川整備計画区間外の流域対策も含む)
5. 草生津川の河川改修【秋田県】	河道掘削、護岸等	R5～	・広域河川改修事業により延長約3.1km(外旭川新橋～五百刈沢橋)の河川改修を実施中。 【河川改修以外の対応(特定都市河川指定)】 ・R6.11.8に旧雄物川流域(旧雄物川、新城川、草生津川、旭川、太平川、猿田川)を特定都市河川に指定。 ・R6.12.23流域水害対策計画の策定に向け、第1回流域水害対策協議会を開催。(基本方針を決定) ・現在は、都市浸水想定の実施に向け検討中(検討開始前、準備段階) ・流域水害対策計画の策定に向け、関係者が協働のうえで、流域一帯の更なる治水対策を検討。(河川整備計画区間外の流域対策も含む)
6. 秋田市内河川の災害復旧【秋田県・秋田市】	築堤・護岸等	R5～R6	【県】 工事発注対応中。一部契約済み。今後も継続。 【市】 令和7年1月に工事契約済み。今後も継続。
7. 古川の河川改修や排水機場等の整備【秋田市】	河川改修 排水機場等の整備	R5～R7	・古川排水機場等、猿田川樋門設置、秋田地区河川防災STの工事着手前に、R6.6.16「雄物川水系古川流域の総合的な治水対策着工式」開催。 ・古川排水機場は、R5年度から工事に着手し、現在、R7年度の完成に向けて施工中。 ・過年度に引き続き、R6年度も河道掘削を実施。 ・古川雨水排水ポンプ場は、R5年度から工事に着手し、現在、R7年度の完成に向けて施工中。 ・湯中町ポンプは、R6年度に詳細設計実施済み。R7年度に工事着手予定。
8. 猿田川樋門の設置【秋田県】	排水樋門設置	R5～R7	・古川排水機場等、猿田川樋門設置、秋田地区河川防災STの工事着手前に、R6.6.16「雄物川水系古川流域の総合的な治水対策着工式」を開催。 ・猿田川樋門の整備はR6.6月から工事に着手。継続中。
9. 雄物川の河川改修【国交省】	河道掘削	R5	・R6.5地元説明会。R6.7から現地着手。工事継続中。
10. 秋田市内河川の河道掘削、伐木、除根【国交省・秋田県・秋田市】	河道掘削、伐木、除根等	R5～	【国】 雄物川の河道内樹木伐採を一部実施済み。今後も継続実施。 【県】 現時点で旭川等の河道掘削、伐木、除根を計画。他の河川についても、緊急的に必要となった区間を実施予定。今後も継続。 【市】 パトロール等により堆積土砂等の状況を把握し、必要な箇所でも河道掘削等を実施している。今後も継続予定。
11. 岩見ダム事前放流【秋田県】	事前放流	R5～	・「事前放流実施要領」に基づき運用中。
12. 田んぼダムの効果検証【秋田県】	ほ場整備事業	H30～	・農業者や関係各者を対象に、田んぼダムの効果に係る説明会を年度内に開催予定。 ・取り組みによって得られる効果等を広く周知することにより、翌年度以降の普及拡大に努める。 ・区画整理工事区域では田んぼダムの導入が進んでいる。
13. 公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討【秋田市】	雨水貯留機能を有する施設 検討	R5～	太平川改修や秋田駅西地区の雨水幹線、フラップゲートなどの水プロで実施する対策を行っても床上浸水が残る地区を対象として検討する。 ・広面地区(大学病院周辺)については、R6年度に下水道浸水被害軽減総合計画の策定業務を実施中。 ・秋田南中・築山小周辺については、R12年度以降の学校統廃合計画に合わせて実施を検討。
14. 下水道施設の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備【秋田市】	雨水幹線の整備 排水ポンプ整備 フラップゲート整備	R5～R14	・秋田駅西地区の雨水幹線は、R5年度から調査・設計に着手し、現在、実施設計を実施中。R8年度からの工事着手を予定。 ・草生津川左岸のポンプ施設は、R6年度に設計業務を実施し、R7年度からの工事着手を予定。 ・明田雨水排水ポンプ場の増設は、R5年度から着手した設計業務が完了し、R6～7年度の2ヶ年で工事を実施予定。 ・広面宇谷内佐渡ポンプ施設は、R7年度に最終工区を整備予定。 ・フラップゲートは、既設の雨水排水樋管33箇所に整備予定。R5～6年度で12箇所を整備し、年次計画で実施予定。
15. 森林の浸透、保水機能の発揮 【林野庁・秋田県・秋田市・森林整備センター】	森林整備	R5～	【林野】 森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、国有林野施業実施計画に基づき、森林整備事業を実施中。 【県】 各事業実施主体が森林経営計画に基づき森林整備を実施中。 【市】 民有林の森林整備については、林業企業経営体が行う間伐や森林経営計画の作成、皆伐後の再造林および保育管理に対して支援をしながら森林の適切な管理を進めている。市有林においては、皆伐再造林を行いながら木材供給と公有林が持つ公益的機能の維持向上に努めている。 【森林整備センター】 水源涵養機能の増進を図るため、森林整備事業を継続実施。
16. 治山対策の推進【林野庁・秋田県】	溪間工、山腹工	R5～	【林野】 R6計画2地区のうち、2地区で工事に着手済み。 【県】 R6計画6地区のうち、4地区で工事に着手済み。

雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクト R7.1月末時点実施状況一覧表②

雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクトメニュー	事業内容	事業期間	各メニュー対応状況 (R7.1月末時点)
■被害対象を減少させるための対策			
17. 公共施設の浸水対策の推進（エレベーター施設等）【秋田市】	エレベーター止水板設置	R5～R7	・止水板の仕様策定中。
18. 学校施設の浸水対策の推進（受変電施設、空調室外機等）【秋田市】	冠水時管制運転機能	施設更新時 随時	・学校改築更新等に併せて実施を検討する事業であり、 現段階で具体的な計画は未定。
19. 秋田中央道路の浸水対策の実施【秋田県】	止水壁設置	R5～R7	・災害関連事業を実施中。 ・浸水対策としての 止水壁について詳細設計中。
■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策			
20. 水害ハザードマップによる自宅リスクの周知を併せたマイタイムライン作成の普及【秋田市】*	ハザードマップを活用した防災講話の実施	R5～	・令和4年に水害ハザードマップを作成し、町内会や学校での防災講話で情報の入手方法や家庭内備蓄、避難にかかる行動計画であるマイタイムライン作成について普及を図っている。今後も防災講話等の機会を捉え、普及に努める。 ・ 水害ハザードマップは、馬踏川および新波川の水位周知河川への格上げに伴い、R6年度中に一部更新を行うため業務委託契約を締結し、作業中。
21. 浸水センサーを活用した安全・安心のまちづくりの推進【秋田市】	センサー、警報ランプ、サイレン、カメラ等	R3～R7	・ 国土交通省によるR6年度ワンコイン浸水センサ実証実験に参加。 ・ 浸水センサを令和5年7月豪雨災害の浸水被害箇所などに20基設置し、令和6年7月から運用開始。 ・ 国土交通省のワンコイン浸水センサ表示システムがR6.11.14から一般公開開始。
22. 秋田地区河川防災ステーションの整備【国交省、秋田市】	造成盛土、備蓄資材製作設置等	R5～R8	・古川排水機場等、猿田川樋門設置、秋田地区河川防災STの工事着手にあたり、 R6.6.16「雄物川水系古川流域の総合的な治水対策着工式」を開催。 ・ 【国】秋田地区防災STの盛土は、R6.7.25着手し、R7年度内に完了予定。 ・ 【市】秋田市水防センター（仮称）は、R6.8末に基本設計を完了、現在実施設計中（R7.3完了予定）。

雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクト公表資料のWebアドレス(秋田河川国道事務所HP内)
http://www1a.thr.mlit.go.jp/Bumon/J75001/river/10_ryuikichisuikyougikai/index2.html

※若しくは検索欄で「秋田河川 雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクト」を入力

河川激甚災害対策特別緊急事業

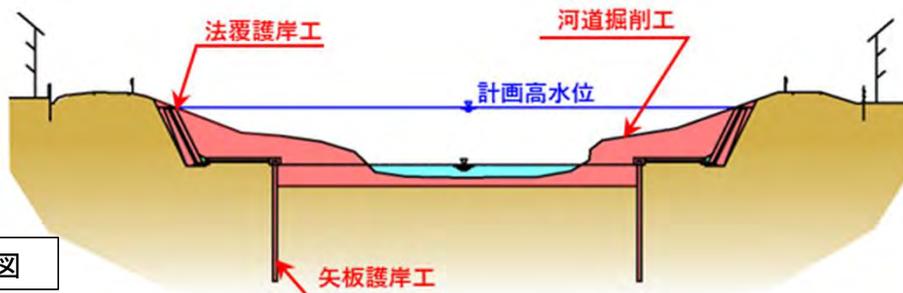
- 目的：川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させる（河道掘削工）。掘削後の法面保護のため、護岸を設置する（法覆護岸工等）。
- 内容：事業延長4.6km（旭川合流点～桜大橋付近）
令和6年度は、下流区間約2.3kmの工事に着手（予定工期R6～R9）
令和7年度は、上流区間約2.3kmの工事に着手予定（予定工期R7～R10）
- 期間：令和5年度～令和10年度（短期間で集中的に整備）
- 事業費：195億円



写真②

写真①

標準横断面図



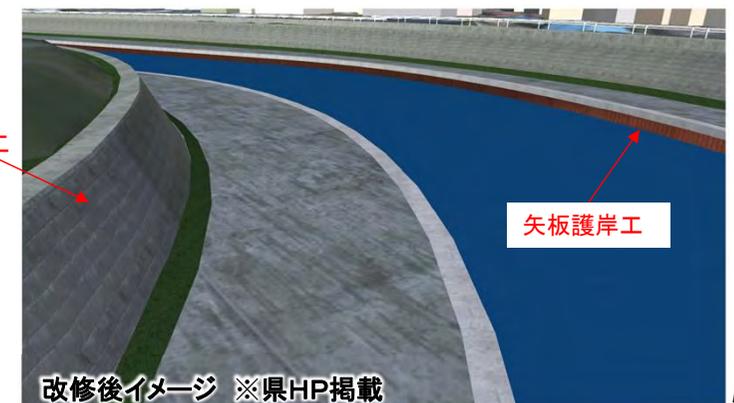
写真① 施工状況(秋田市卸町付近)
護岸工、鋼矢板

R7.1.24撮影



写真② 施工状況(秋田市櫛山付近)
仮栈橋の施工

R7.1.24撮影



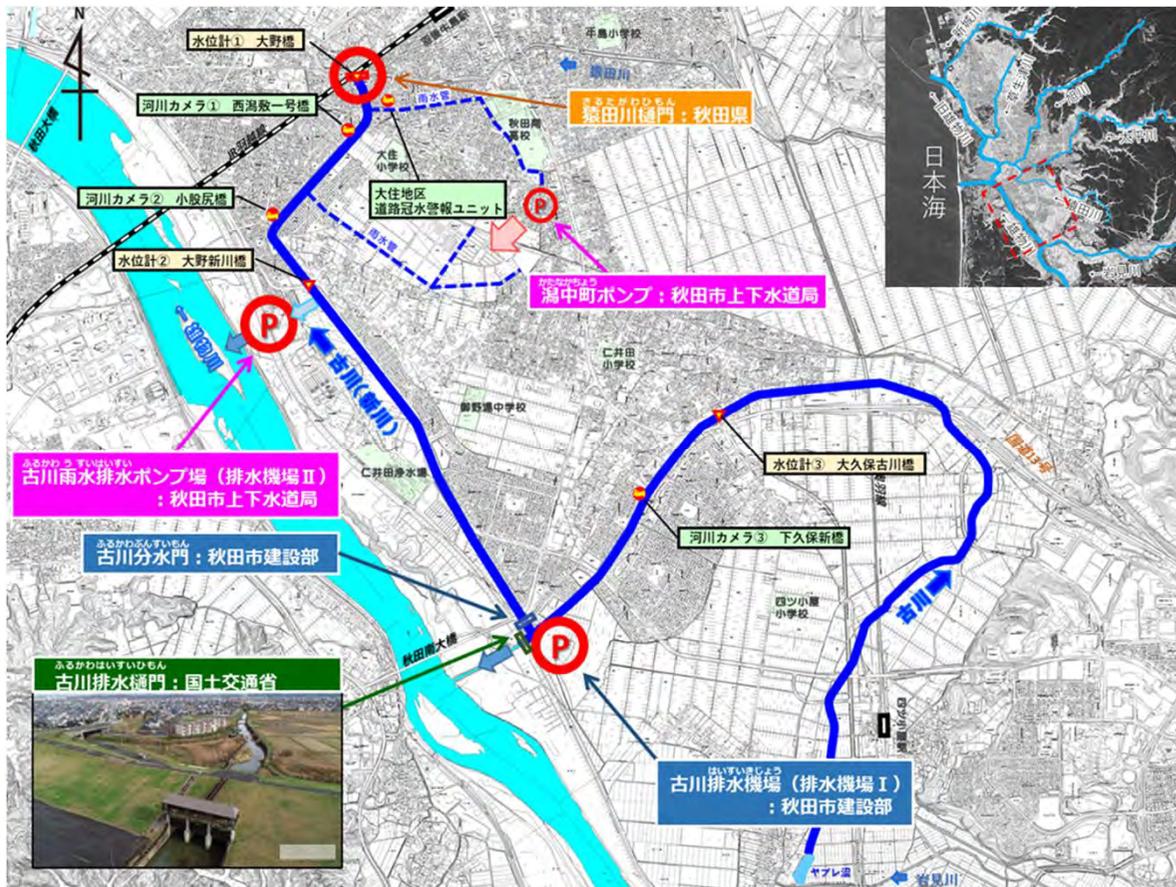
改修後イメージ ※県HP掲載

7. 古川の河川改修や排水機場の整備【秋田市】

- ・古川沿川において、内水を強制的に河川へ排水する排水ポンプを整備し、また川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させ、家屋浸水被害の軽減を図ります。

- 事業内容：河川改修、排水機場等の整備
- 事業期間：令和2年度～令和7年度
- 施行地：秋田市仁井田ほか

- ・過年度に引き続き、R6年度も河道掘削を実施。
- ・古川排水機場および古川雨水排水ポンプ場は、R5年度から工事に着手し、R7年度の完成に向けて施工中。



古川(仁井田字新中島付近)河道掘削状況写真



古川排水機場(四ツ小屋字中山付近)整備状況写真(R6.11)



具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

9. 雄物川の河川改修 【国土交通省】

・延長2.3km（秋田南大橋下流付近）において、川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させます。なお、掘り出された土砂は周辺の事業で有効活用を図っています。

- 事業内容:河道掘削
- 事業期間:令和5年度
- 事業費 : 13.3億円 (防災減災対策等創生事業推進費)
- 施行地 : 秋田市仁井田ほか

R6.7から現地着手。工事継続中。

雄物川右岸(秋田南大橋付近)河道掘削状況写真



13. 公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討 【秋田市】

- ・ 令和5年7月梅雨前線による大雨で浸水被害が発生した箇所にある公共施設等において、施設の改修などに併せて、雨水貯留機能を有する施設を検討します。

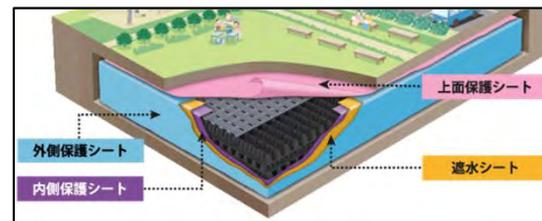
R6. 11月から広面地区（大学病院周辺）について計画策定業務を実施中。



- 事業内容: 公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討
- 事業期間: 令和5年度～
- 施行地: 秋田駅東地区を想定

【 雨水貯留施設の例 】

駐車場地下へのコンクリートによる貯留槽の整備イメージ



公共施設(道路・緑地帯)の地下へプレキャスト製品による貯留槽整備のイメージ

※地下埋設物の移設が必要

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

21. 浸水センサー等を活用した安全・安心のまちづくりの推進 【秋田市】

- ・地区住民の安全・安心な生活を確保するために、道路冠水と河川氾濫状況の見える化を図り、住民に対して注意喚起や現況を的確に伝達するとともに、通行止めなど市の迅速な現地対応に繋げる有効な手段を構築し、防災・減災意識を向上させる。

- 事業内容: センサー、警報ランプ、サイレン、ネットワークカメラ、通信ユニット、量水標
- 事業期間: 令和3年度～令和7年度
- 施行地: 秋田市大住ほか

- ・国土交通省によるR6年度ワンコイン浸水センサ実証実験に参加。浸水センサを令和5年7月豪雨災害の浸水被害箇所などに20基設置し、令和6年7月から運用開始。
- ・国土交通省のワンコイン浸水センサ表示システムがR6.11.14から一般公開開始。

○ワンコイン浸水センサー設置概要

- ・R5. 7大雨による浸水被害のあった秋田市内各地区に計20箇所設置
- ・7月上旬運用開始



▲ワンコイン浸水センサ取付状況



浸水センサ表示システム画面

浸水センサ表示システムは以下WEBサイトで確認できます。
<https://c-sensor.river.go.jp/>

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

22. 河川防災ステーションの整備 【国土交通省・秋田市】

- ・ 雄物川下流域の洪水被害を最小限とするため、災害時の緊急復旧活動に使用する緊急用資材の備蓄、作業車両の駐車場、ヘリポート等の機能を備えた秋田地区河川防災ステーションを整備するとともに、秋田市が水防センターを設置し、災害時活動拠点施設を整備する。

- 事業内容: 盛土造成、緊急復旧用資材の備蓄(土砂、岩ズリ、根固めブロック等)、ヘリポート、水防センター
- 事業期間: 令和5年度 ~ 令和8年度
- 施行地 : 秋田市仁井田



秋田地区防災STの盛土はR6.7.25着手し、R7年度内に完了予定。



秋田地区河川防災ステーション盛土施工状況写真 (R6.11末現在)

整備イメージ		
建設機械活動スペース (国交省)		ヘリポート (国交省)
水防作業スペース (国交省)	資材備蓄スペース (国交省) ・ 根固めブロック ・ 連節ブロック	資材備蓄スペース (国交省) ・ 土砂 ・ 岩ズリ
水防センター (秋田市)		

整備イメージ (平常時)

整備イメージ (災害時)

- 令和5年7月秋田県内を襲った記録的大雨被害からまもなく一年となることから、雄物川流域治水協議会下流圏域分科会で関係機関が取り組んでいる治水対策をパネルで紹介
- 本展示を通じて災害の記憶を忘れずに流域治水の理解と自分事として命を守る行動につなげてもらうことを目的に開催

6月6日(木)リリース 【取材申込】 ABS秋田放送 / AKT秋田テレビ

- <場所> 秋田駅東西連絡自由通路【ぽぽろ一ど】
- <期間> 6月10日(月)～14日(金) 5日間
- <主催> 雄物川流域治水協議会下流圏域分科会
- <内容> 「大雨と被害の状況」「水災害対策プロジェクトの取り組み」「内水浸水想定区域図」

パネル展は秋田駅を利用する多くの方々にご覧頂いた！



[マスコミ取材] ～ パネルをご覧になった方のコメント ～

- ・去年は大変だったからまた大雨にならないければ良い
- ・もうすぐ梅雨の季節なるから早めに対策をすすめてほしい
- ・これから去年みたいな時期になるかと気にしている
- ・去年は浸水がひどかったのが心配です
- ・車は避難させたいと思っているが具体には決まっていなくて早く備えたい



秋田河川国道事務所 撮影

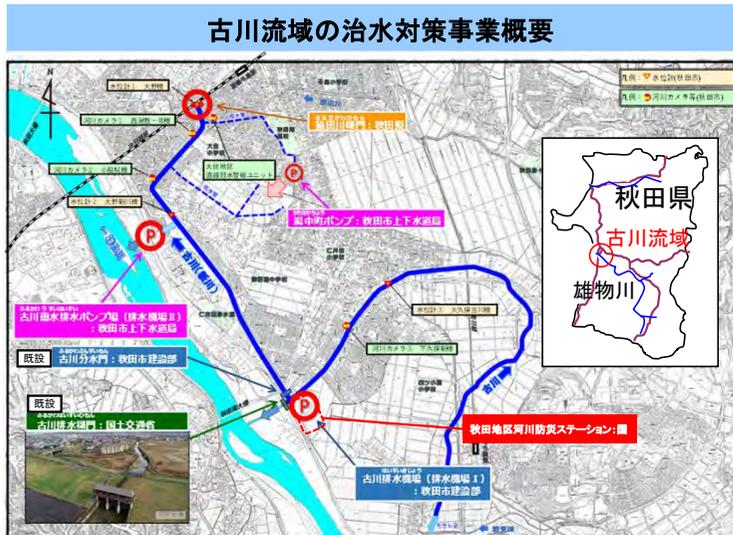


ABS秋田放送 news every. より

■古川流域では、頻発する浸水被害に対し、秋田県、秋田市、国が『古川流域の総合的な治水対策協議会』を設置し、関係機関が連携し一体となった古川流域の流域治水対策を推進している。

■今般、関係機関の主要事業の着工にあたり、令和6年6月16日(日)に着工式を開催。

6月7日(金)リリース 【取材申込】 ABS秋田放送 / AKT秋田テレビ / AAB秋田朝日放送 / (株)News Bank
秋田魁新報社 / 読売新聞社 / 建設新聞社 / 秋田建設工業新聞社



＜祝辞＞
衆議院議員
富樫 博之



＜挨拶＞
秋田県知事
佐竹 敬久



＜挨拶＞
秋田市長
穂積 志



＜挨拶＞
東北地方整備局長
山本 巧



＜期待の言葉＞
仁井田地区振興会長
相場 隆



▲仁井田伝統芸能保存会による演舞



▲鍬入れの様子

- 自然災害を住民の皆様が自分事として捉えて頂くことを目標に『あきた災害の記憶伝承』リーフレットを作成
- 繰り返す自然災害への備えを教訓として後世に遺すため「県内で繰り返されてきた災害」「地域に伝わる言い伝え」「身近にある石碑」などの情報を『あきた災害の記憶伝承』としてとりまとめ
- 『あきた災害の記憶伝承』は災害リスクを自分事として捉え自分が住んでいる地域のリスクを把握して命を守る行動につなげてもらうことを期待して防災教育や伝承活動等へ活用

7月3日(水) リリース 【取材申込】 秋田魁新報社 / AAB秋田朝日放送 / 毎日新聞社

○リーフレットの作成、配布〔3,000部〕

- ・関係各施設へ配布【秋田河国、秋田県、災害情報が記載している市町村、道の駅、観光協会、教育施設 等】
 - ・出前講座、総合学習教育、観光案内による周知【小中学生、自治会、自主防災組織 等】
- 本リーフレットを活用した防災教育、伝承活動により防災知識を習得



▲「あきた災害の記憶伝承」リーフレット

○取材対応(地元紙:秋田魁新報)



▲取材対応状況



災害の備えに...「記憶伝承」冊子完成 県内32地点取り上げる

国土交通省秋田河川国道事務所は、過去に県内を襲った災害を伝承し、次の災害への備えに生かしてもらおうと「あきた災害の記憶伝承」リーフレットを作った。

リーフレットでは、昨年7月の記録的大雨で被災した秋田市中心部のほか、過去に地震で被害を受けるなどした県内32カ所について、地図とともに紹介している。一部は県民からの情報提供を得て、反映させたという。

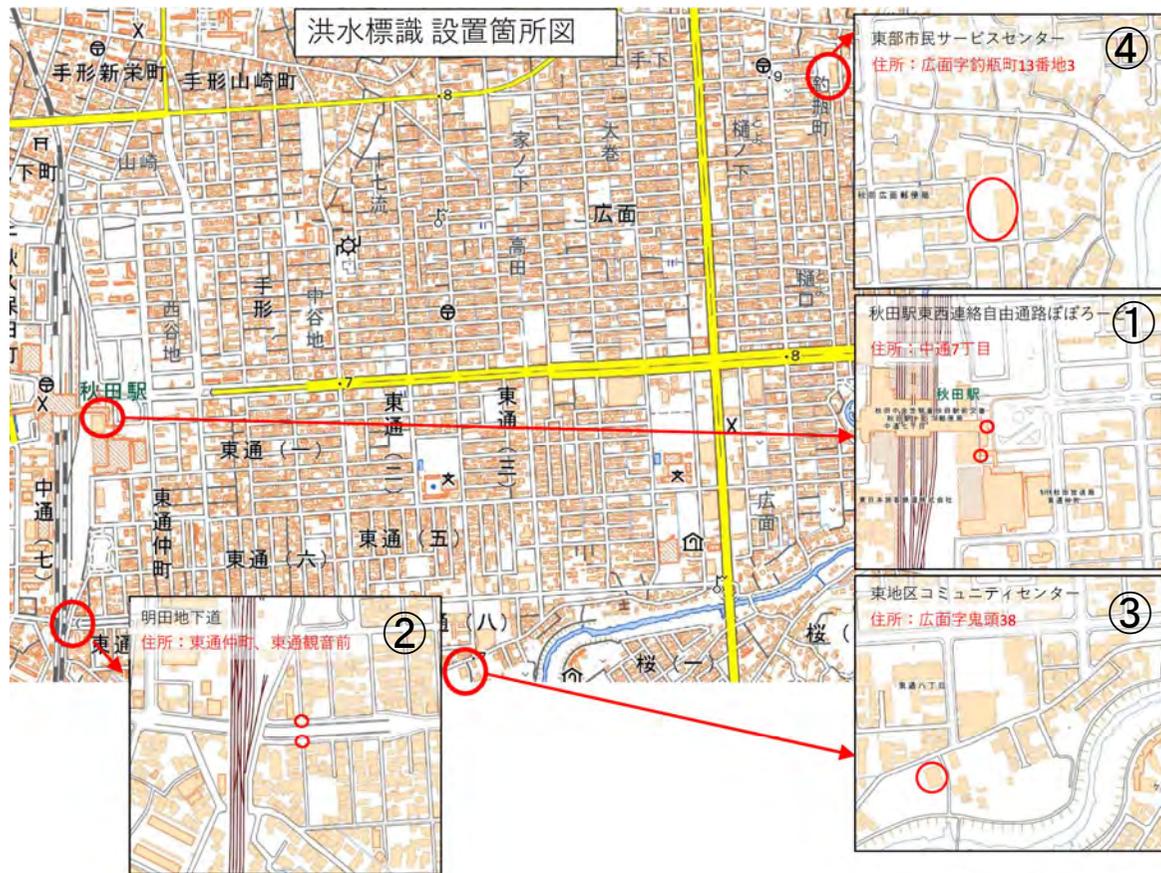


▲新聞掲載記事(電子版) 秋田魁新報



■ 令和5年7月秋田県内を襲った記録的大雨による洪水を契機に自身が住んでいる地域で発生した洪水被害を振り返り、水害リスクを自分事として認識してもらい洪水に備える (R6.7.29リリース)

<表示場所> ①秋田駅東口(2箇所) ②明田地下道(2箇所) ③東地区コミュニティセンター ④東部市民サービスセンター



①秋田駅東口(2箇所)



②明田地下道(2箇所)



③東地区コミュニティセンター



④東部市民サービスセンター



【日時】令和6年12月23日(月)14:30~ 秋田地方総合庁舎6F605会議室

【目的】R5.7大雨による秋田市街地での浸水被害発生により、雄物川下流圏域流域治水協議会にて「水災害対策プロジェクト」をとりまとめ後、流域治水対策をより深めていくことを目的に、旧雄物川流域6河川(旧雄物川、旭川、太平川、猿田川、草生津川、新城川)においてR6.11.8に特定都市河川及び特定都市河川流域に指定。

特定都市河川に指定した旧雄物川流域において流域内のあらゆる関係者が一体となり、総合的な水害対策の効果的かつ円滑な実施を図るための「旧雄物川流域水害対策計画」策定に必要な協議や連絡調整を行うもの。

【協議会メンバー】秋田河川国道事務所、西奥羽土地改良調査管理事務所、秋田森林管理署、秋田市(総務部、産業振興部、建設部、都市整備部、上下水道局)、秋田県(総務部、農林水産部、建設部、秋田地域振興局)、学識経験者秋田大学名誉教授松富英夫



協議会状況

※詳しくは、下記HPまたはQRコードよりご確認ください。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/80402>

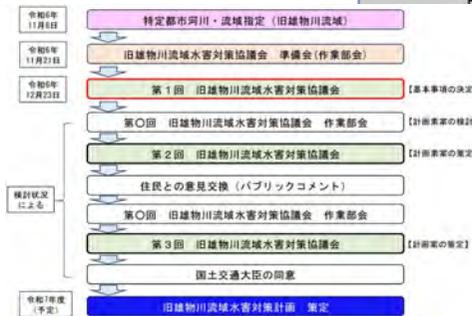


旧雄物川流域6河川を「特定都市河川」に、その流域を「特定都市河川流域」に指定(R6.11.8)



【議事概要】

- ・ 計画の基本的な考え方
水災害対策プロジェクト等の取組を基本として、流域治水の深化を図る
- ・ 計画期間
今後開催する協議会において決定
※概ね20~30年間を目安に具体的な対策案を検討
- ・ 計画対象降雨
令和5年7月と同規模の大雨と設定
浸水被害の大幅軽減を目標に検討を行う
- ・ 今後のスケジュール※右記



今後のスケジュール

- 主催：秋田魁新報社 ■共催：イオン東北 ■後援：秋田河川国道事務所・秋田県・秋田市
- 日時：令和7年1月19日（日） 午前10:30～、午後14:30～の2回
- 場所：イオン秋田中央店2F 催事場
- 参加：一般公募による親子連れなど 57名参加
- 内容：地域住民へいつでも起こる可能性がある地震や洪水に対し、自らの命や財産を守る「防災・減災」の知識を届けるものとして、令和5年7月の記録的な大雨で浸水被害のあった秋田市街地を段ボールを利用して立体地図を作成し、学校や自宅付近の土地形状を把握して災害の恐れや避難場所を知っていただくことを目的としたイベントを開催



防災授業の様子（イオン秋田中央店2F催事場）



秋田市街地の段ボール立体ジオラマ



段ボール組立状況



立体ジオラマでの災害想定箇所の把握



マイタイムラインの説明状況
（秋田河川国道事務所 流域調査課長）